



「飛躍」(部分) 田村民彦 1986 系生小学校

福井県陶芸館では、今年一年を通して、開館五〇周年を記念した特別展「ECHIZEN BRAND」を開催しています。

後期となる本展では「新しいやきものへの挑戦」と題し、明治、大正、昭和の時代に福井県でつくられたやきものをご紹介します。

明治政府による殖産興業政策の推進や西欧の窯業技術の導入に伴い、近代化を迎えた日本のやきもの。新しい窯が出現し、新たな局面を迎えます。販売競争が激化したことにより、各産地では、デザインの新模索や品質改良が積極的に行われました。

福井県においても、中世、近世の茶色のやきものとは異なる色絵、磁器といったやきものが生産されました。

昭和に入ると北陸本線との関わりや、県の窯業試験場の設立により様々な試みが行われ、そのなかからは器だけではなく、「陶壁」として建築物の内装に使用されるものも登場します。

「越前焼 Ⅱ 茶色のやきもの」のイメージを覆す、ちよっと昔の福井のやきもののお見逃しなく！

ECHIZEN BRAND 関連行事

◆担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月18日(土)、9月23日(木)、10月3日(日)
10月30日(土)、11月21日(日)、11月27日(土)
各日11時～(1時間)
会場：福井県陶芸館 1・2階資料館(1階展示室集合)
講師：当館学芸員 倉澤佑佳
内容：作品の見どころをご紹介します。
聴講料：無料(ただし本展観覧券が必要です。)、事前予約不要、先着15名。

◆特別対談「福井のやきものと生活」

日時：10月24日(日)13:30～15:30
会場：天心堂
講師：川波久志氏(福井県立若狭歴史博物館 学芸員)×倉澤佑佳(当館学芸員)
内容：明治から昭和の時代に福井でつくられたやきものについて「ものづくり」と「生活」の観点から紹介します。
定員：20名(事前予約制 先着順)※電話申し込み☎:0778-32-3262
聴講料：無料(ただし本展観覧券が必要です。)

◆関連展示

「ふくいの色絵と図案ぬり絵 - 日渉園・葵園 -」

期間：9月14日(火)～11月28日(日)
会場：旧水野家住宅 待合
内容：明治から昭和にかけて福井で試みた、色絵作品をパネル展示で紹介。会場では、葵園の図案に好きな色を塗って、楽しむことができます。
入場料：無料

◆陶壁ツアー

日時：11月6日(土)10時～12時
行程：陶芸館→宮崎コミュニティセンター→陶芸館 ※徒歩片道30分
定員：10名(事前予約制 先着順)※電話申し込み☎:0778-32-3262
料金：本展観覧券

◆「機械ろくろを体験しよう！ - そば血編 -」

日時：10月16日(土)10時～12時
行程：陶芸館→窯業指導所
講師：日向光氏(日向工房) 倉澤佑佳(当館学芸員)
内容：昭和の時代に今庄駅の駅そばで使用された水坂焼のそば血について学芸員の解説を受けた後、当時そば血を大量生産するために導入された「機械ろくろ」でそば血をつくります。そば血は後日受け渡します。(袖掛け、焼成を行い完成までに1ヶ月ほどかかります)
定員：5名(事前予約制 先着順)※電話申し込み☎:0778-32-3262
料金：本展観覧券

福井県陶芸館までのアクセス

バス

- ・JR武生駅より<所要時間30分>
福鉄バス(武生・越前海岸線)「かれい崎行」「陶芸村口」下車
福鉄バスに関するお問い合わせ 福井鉄道株式会社 福北営業所(☎0778-21-0712)

高速道路

- ・武生IC(京都・名古屋方面)より<所要時間約30分>
 - ・鯖江IC(金沢方面)より<所要時間約30分>
 - ・敦賀IC(名神・舞若道)より305号線利用<所要時間約50分>
- ※駐車場は越前陶芸村総合駐車場をご利用ください。



福井県陶芸館
[越前陶芸村内]

ご予約・お問い合わせ

 福井県陶芸館
FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

〒916-0273
福井県丹生郡越前町小曾原120-61
☎: 0778-32-3262